

SCREEN

人と技術をつなぎ、未来をひらく

輝け、未来。

SCREENは、いつの時代も
ソリューションクリエイターとして
世界が抱えるさまざまな社会課題の解決に挑み、
技術で文化を支え、未来をひらいていきます。



株式会社SCREENホールディングス



型取る 山岡製作所

金型部門
装置部門
量産部門



協働ロボット、コンベア、AGV
省人化設備を組み合わせて
人手不足に強い現場を！

株式会社 山岡製作所

本社 〒610-0101 京都府城陽市平川横道93
TEL (0774) 55-8500(代) FAX (0774) 53-7873
宇治田原工場 〒610-0231 京都府宇治田原町立川金井谷21-11
TEL (0774) 88-4880 FAX (0774) 88-4870
愛知営業所 〒491-0847 愛知県一宮市大和町宮地花池字中道9-37
(株式会社 小早川製作所内)



yamaoka.co.jp

京都のものづくり

2026

未来への種まき

少子高齢化の進行で企業の人手不足が社会課題となり、社員一人ひとりの能力向上が求められている。経済産業省によると、多くの産業で2040年にはAI（人工知能）・ロボット等利活用人材を含む専門職が約340万人、現場人材が約260万人不足するという。そんな中、京都のものづくり企業は社員自ら手を動かして学び、社員の能力の向上を促すような人材育成などに力を入れている。

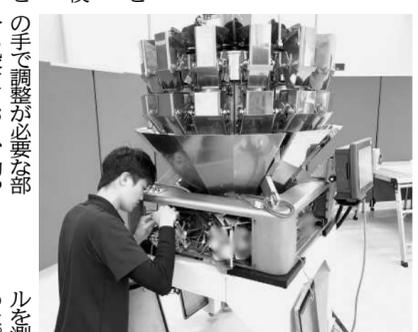
カシフジ 模型の組み直しで原理学ぶ



●オーバーホールしたKS14型
●カシフジのホフ盤の模型



簡単な歯形を加工作している。全新人社員を
るホフ盤などの工作機 対象に、人材育成の一
機を手がけるカシフジ 環として、ホフ盤の模
は、同機械の原理を学 型を組み直す内容で、
べる取り組みを実施し、模型はからくり機構を
の手で調整が必要な部
分も設けており、動や
コツをつかむ経験にな
るといふ。



25年度から実施している実技試験

などを手がける
インダは、機械
メンテナンスで
世界同一品質の
サービス提供に
力を入れている。
そのため、
自社や販売代理
店のメンテナンス
人材の育成に
注力。25年度か
らは故障を再現
した機械で、メ
ンテナンススキ
ルを測る実技試験を始
めた。

同社は近年、195
6年から販売を始め、
重要製品のひとつだっ
たホフ盤「KS14型」の
式。実機を
組み立てる
の1つとして行った。
1964年製のKS14
型を、若手やベテラン
を含めた人材育成の一
つとして2021年の間
で実施。カシフジでは
からくり機構を用いる
50年ほど前の機械のオ
ーバーホールや修理が
年に何度かあり、当時
の構造を知ること、
通業業務での技術力向
上を狙った。大きな学
びになったとして、西
岡正朗取締役は「今後
もオーバーホールでき
る機会があれば取り組
みたい」と語る。

インダ 実機を用いた試験実施

食品業界向けの計量
機や包装機、検査装置

して、活動の情報発信
も行う。分析計測事業
部技術部の古田哲朗主
査は「企業文化を醸成
したい」と意気込む。
すでに20以上のプロジ
エクトが動き、実績も
出ている。

島津 顧客価値創出し高速開発

島津製作所は部門を 財産部、総合デザイン
超えた組織「カソクタ センターのメンバーが
イ」を構築し、顧客の 所属している。
業務達成に貢献するモ ノづくりに力を入れて 称は「顧客価値を創出
いる。ホトムアップに しながら高速な開発を
より実現した組織で、 するためのタスクフォ
分析計測事業部と知的 ースで、2025年

1月から活
動を始めた。
近年分
析計測装置
は、装置ス
ベックのみ
での差別化
が難しくな
っている。
3部が得
意とする知
見を生か
し、IPラ
ンドスケー
プ(知的財
産情報)の解
析やマップ
要な技術の
一つになっ
ている。2030年頃
とみられるビヨンド5
G(6G、第6世代通
信)が普及する時代で
は、産業システムに使
う無線通信技術は、今
まで以上にミッション
クリティカルなロボッ
トの遠隔制御などへの
対応が求められる。そ
こで情報通信研究機構
(NICT)や村田機
械などは、産業システ
ムで求められる無線通
信技術の確立と社会実
装、標準化加速に向
け、「産業用無線技術
研究組合」を設立した。
無線モジュールの安定
供給を目指す。

村田機械など 産業用無線技術 研究組合を設立

島津の「カソクタイ」事務局
メンバーの一部

製造現場で浸透す
る、ロボットなどの作
業では、無線通信も重
要な技術の一つになっ
ていく。2030年頃
とみられるビヨンド5
G(6G、第6世代通
信)が普及する時代で
は、産業システムに使
う無線通信技術は、今
まで以上にミッション
クリティカルなロボッ
トの遠隔制御などへの
対応が求められる。そ
こで情報通信研究機構
(NICT)や村田機
械などは、産業システ
ムで求められる無線通
信技術の確立と社会実
装、標準化加速に向
け、「産業用無線技術
研究組合」を設立した。
無線モジュールの安定
供給を目指す。

Horizon

Change the focus

株式会社ホリゾンは 創業80周年を迎えました。

磨き上げたものづくりの精度を武器に、
視点を変えることで、既成概念を塗り替える。
常に変化を先取りし、可能性を広げ続けるために
私たちは誰よりも自由にチャレンジしていきます。

80年は、通過点。
積み上げた歴史をエネルギーに変えて、
ホリゾンは今、その向こう側へ。

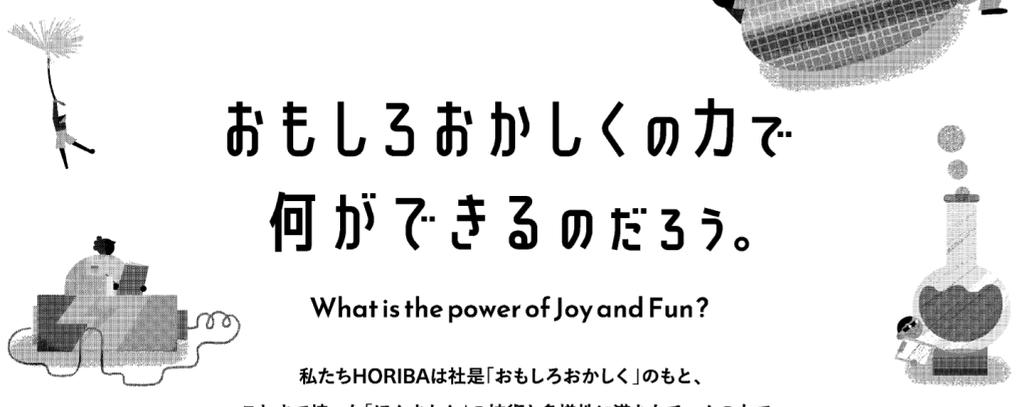


ANNIVERSARY

www.horizon.co.jp

開発・製造 株式会社ホリゾン 本社びわこ工場 〒520-1501 滋賀県高島市新旭町旭1600 TEL.0740-25-4567 (代)
京都本社 〒601-8204 京都府京都市南区久世東土川町242 TEL.075-921-9211 (代)
国内販売 ホリゾン・ジャパン株式会社 東京/京都/滋賀/福岡/仙台
海外販売 ホリゾン・インターナショナル株式会社 京都/滋賀/東京/ドイツ/アメリカ/スウェーデン

HORIBA



おもしろおかしくの力で
何ができるのだろう。

What is the power of Joy and Fun?

私たちHORIBAは社は「おもしろおかしく」のもと、
これまで培った「ほんまもん」の技術と多様性に満ちたチームの力で、
お客様や社会から必要とされる企業として持続的な成長をめざします。

おもしろおかしくをあらゆる生命へ
Joy and Fun for All



はかるだけじゃない、気づけば世界を動かしている。

株式会社堀場製作所

HORIBAのビジョン、
ミッション、バリューはコチラ▶
www.horiba.com/our-future/ja



流体計測・制御・発生技術のコフロック

PIマスフローコントローラ
MODEL ST-500 SERIES

温度補正付小型カルマン渦流量計
MODEL FML-300 SERIES

屋内/屋外対応 窒素ガス発生装置
N₂ IMPACT II SERIES

▲ DeviceNet ▲ EtherCAT ▲ RS485

▲写真は屋外設置タイプ

令和6年度 京都中小企業技術顕彰(優秀技術賞)
主催:公益財団法人 京都産業21

第35回中小企業優秀新技術・新製品賞(奨励賞)
主催:りそな中小企業振興財団 日刊工業新聞社

圧力変動に対し安定した流量制御が可能なマスフローコントローラ

- PI・Pressure Insensitive(ST-500のみ) 圧力変動に対し安定した流量制御
- ダイヤフラム式バルブ採用のメタルシールMFCで、EP処理及び酸化被膜処理により腐蝕性流体に対応
- DeviceNet®, EtherCAT®, RS485通信(ST-550のみ)
- ガスパネルマウント、Wシール/Cシール継手対応
- S.P.精度、全流量制御応答1sec以内
- 専用アプリによるマルチレンジ機能(30~100%F.S.)

温度センサ搭載により、液温変化時にも高精度な計測可能

- 接液部にNewPFAを採用し、薬液や超純水にも対応
- 0.3~250L/minまでの幅広い流量レンジをカバー
- コンパクト設計で装置の小型化にも貢献
- IP65相当の防水性

オイルフリーコンプレッサ内蔵で、クリーンな窒素を供給

- 屋外設置タイプが新たに追加!工場スペースの有効活用に貢献
- IPX3相当の防滴仕様
- 屋外40°C条件下で運転可能
- 冬の凍結防止用ヒーター搭載
- 4点アイボルト付
- ECOモード搭載 最大49%電力削減
- 外部エア供給機能搭載 緊急時バックアップエアで運転可能

コフロック株式会社
https://www.kofloc.co.jp

本社・京田辺工場 〒610-0311 京都府京田辺市草内当ノ木1-3
八幡オフィス・工場 〒614-8184 京都府八幡市上津原八丁25
東京メインオフィス 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町3-3-6 人形町7-2ビル1F
名古屋オフィス 〒450-0002 名古屋市中村区名駅5-16-17 花車ビル8F
大阪オフィス 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-23-20 TEK第2ビル8F
九州出張所 〒839-0812 福岡県久留米市山ノ内安原3-12-7 丸の内久留米ビルB-1

TEL:0774-62-4411 FAX:0774-63-5041
TEL:075-983-3500 FAX:075-983-3501
TEL:03-3664-0200 FAX:03-3664-0210
TEL:052-583-0411 FAX:052-569-1286
TEL:06-4861-4441 FAX:06-4861-4455
TEL:0942-41-0088 FAX:075-983-3501

魁半導体

プラズマ装置メーカーの魁半導体は、京都工芸繊維大学大学院でのプラズマ研究から創業した企業。多くの大学と共同研究し、企業間連携にも積極的で、創業時から縁が深い京都工繊大とも共同研究に取り組んでいる。

2025年11月から新事業を始めた。同社保有のプラズマ装置を顧客が自身で利用し、プラズマ処理を代行できる「Plasma Open Labサービス」という事業だ。コストを抑えたプラズマ試作処理ができ、研究開発や装置購入前の検証に対応する。

プラズマ受託処理サービスも好評で、研究開発用や生産向けを問わず引き合いがある。今後も大気圧・真空両対応の技術力を強みに、プラズマ技術の用途を拡大していく方針。

SCREENホールディングス

半導体製造装置が主力のSCREENホールディングスは、2024年5月に策定した3カ年中期経営計画の下、事業成長と経営基盤強化を進め、成長投資を行っている。25年12月には同社初の海外研究開発拠点として、米国・ニューヨーク州に「ATCA (SCREEN Advanced Technology Center of America)」を設立した。成長が期待される半導体先端パッケージ領域に向けては、直接描画装置や塗布乾燥装置の販売に加え、ウェハーの低温接合技術の開発および実装化を進めている。今後も、人と技術をつなぎ、未来をひらく、ソリューションクリエーターとして、企業価値向上に向けた取り組みを進めていく。

第一工業製薬

第二工業製薬は中期経営計画「S.M.A.R.T.2030」に基づき、2030年に向けた取り組みを進めている。電子・情報分野では、ハイエンドサーバー向け低誘電率樹脂への設備投資を継続しながら、安全供給体制の構築を図る。環境・エネルギー分野では、リチウムイオン二次電池(LiB)関連材料のさらなる事業成長を目指す。成長が期待されるライフ・ウェルネス分野では、カイコハナサナギタケ冬虫夏草の機能性表示食品「快脳冬虫夏草」の拡販に注力する。また、おいしジュネスでは、消臭・除菌スプレー「NYOCAN(ニオキャン)」に加え、天然系臭気中和消臭剤「エアークレム」の活用を広げ、工場周辺や飲食店などにおいて対策に貢献する。

有力企業の製品・技術 (順不同)

堀場製作所

2026年は中期経営計画「MLM AP2028」の折り返しとなる重要な一年。堀場製作所の注力フィールドである「エネルギー・環境」「バイオ・ヘルスケア」「先端材料・半導体」の3分野で、社会の発展に貢献する分析・計測ソリューションを提供し、さらなる成長を目指す。

生成AI(人工知能)の急速な普及を背景に成長が続く半導体分野では、京都府福知山市に新設した工場がまもなく稼働を迎える。半導体製造に不可欠な主力製品「マスフローコントローラ」の国内生産能力を最大3倍まで高めることを可能とし、拡大する需要に着実に応える。「ほんまもん」の技術と価値を磨き続け、次なるステージに向けた新たな挑戦を積み重ねる。

星和電機

星和電機は本社工場を京都府城陽市に構え、道路情報表示システムや道路・トンネル照明、産業用照明、ノイズ対策製品、配線保護機材などを開発、製造しているメーカー。高付加価値な多機能照明や、デジタル技術を用いたシステム製品のラインアップ拡充で、顧客の生産性向上と安全対策に貢献している。

昨秋発売の多機能照明「防爆形サインLED灯器具」は、白色照明と注意喚起色の切替で視認性を高め、危険場所の安全対策を支援する。2月発売の「防爆形動体センサー」では、マイクロ波センサーで動体を検知し、注意灯やアザー、照明器具などと連動して危険場所の注意喚起や省エネに貢献。今後もさまざまな課題に対応するものづくりに取り組む。

山岡製作所

山岡製作所は精密プレス金型から樹脂成形金型、サーボプレス機などを手がけ、近年は環境関連や省人化機器の開発にも注力する。

薄物材料の打抜きや成形技術が強みの金型部門で、リチウムイオン電池などの次世代電池分野の開発案件が増加。装置部門は同電池向け金型を組み込んだ生産設備を設計・製作し、両部門の技術を融合したソリューションを提供する。また、販売実績400台超の無人搬送車(AGV)と協働ロボットを用いた高度な省人化システムの構想提案から導入にも一貫対応している。

社内ではRPA(ソフトウェアロボット)による業務自動化で改革を進めるほか、独自の「山岡技能経営」で匠を育て、次世代のものづくりを支える。

Tomorrow's solutions, today

はたらきを化学する。

三洋化成
www.sanyo-chemical.co.jp/

検索

抱負な経験と蓄積された技術・・・ 選ばれ続ける製品を提供します

フィールドは世界

米国ケイデント・ジョンソン社と技術提携を行い、世界中に展開。韓国、台湾、ベトナム、タイ、マレーシアにおいて各国のシェアは50%以上です。

業界トップシェア ※当社調べ

ロータリージョイントは、様々な業界の生産設備において非常に重要な役割を果たしており、製紙業界においては、90%のシェア。製鉄・段ボール業界へも独自の構造の製品を納めてシェアを伸ばしています。近年ではフィルム業界へも長寿命な製品を展開。

一歩先を行くサービス

安心してご使用いただく為、工事専属チーム「チームコルプロ」を結成し、改造工事・設備診断・保守点検などの活動を行い、段ボール業界の顧客から高い評価を得ています。

株式会社日本ジョイント

〒613-0022 京都府久世郡久御山町市田北浦55
TEL:0774-23-3211 FAX:0774-24-0655
URL: https://www.nippon-joint.co.jp/

Instagram

触れずに操作、非接触センシング!

究極のコンパクト光源!

KODENSHI

フラットタイプ サーマル温度センサ

RGBレーザー光源 モジュール

一歩先の未来をセンシング

光でつなぐコーデンシ

空気、距離、位置、回転等のセンシング!

測距センサ

自己気流方式ほこりセンサ

回転検知小型反射型エンコーダ

水検知センサ

カラーセンサ

コーデンシ株式会社 〒611-0041 京都府宇治市横島町十一の161 TEL.0774-20-3559

プラズマ技術で未来をつくる

株式会社 魁半導体
URL <https://sakigakes.co.jp>

京都府京都市下京区西七条御前田町50番地
TEL 075-204-9589 FAX 050-3488-5883

京都のもものづくし2026

ホリゾン

1946年にラジオ修理から歩み始めた製本機器メーカーのホリゾンが、創業80周年を迎えた。自動製本機のパイオニアとして印刷製本現場の自動化を推進し、現在は世界約120カ国に商品を展開するグローバル企業へと成長。長年培った精密なものづくりの技術を武器に、既存の枠組みを超えてチャレンジし続ける。

さらなる進化に向け、京都リサーチパーク（京都市下京区）内の拠点を移転し、4月13日より新体制での業務を開始する。秋には京都本社（京都市南区）の竣工を予定し、秋には滋賀県高島市で「ホリゾンスマートファクトリー2026」を開催。積み上げた歴史をエネルギーに変え、京都から世界へ、未知の領域を切り拓く。

外国人観光客に人気の錦市場（京都市中京区）

日本シヨイント

日本シヨイントはロータリーシヨイント事業メーカー。1964年に製造販売をはじめ、製紙業界でのシェアは90%。製紙業界や段ボール業界向けにも独自のアイデアで革新的な構造の製品を展開し、近年はフィルム業界向けにも活動を広げている。同社製品は、さまざまな素材産業の生産設備を支える重要な役割を担っている。

ロータリーシヨイントで培った技術と経験を生かし、工事専用組織「チームコルプロ」を結成している。改造工事・設備診断・保守点検などの活動を行い、顧客から高評価を得ている。従来手法にとらわれず、常に新しい最善策を模索する姿勢が同社の強み。これからも常に最善の方法を追求するため、たゆまぬ努力を続けていく。

コーデンシ

コーデンシは光を生み出す発光素子と光を検知する受光素子の光半導体技術を基礎に、測距、フォトインタラプタ、光検知の三つのセンサーをコア技術として確立し、これらをもとに、光学式エンコーダやサーモパイル、ほこりセンサーなど、豊富なラインアップを取り揃えている。また光半導体の設計からウェハープロセス、アセンブリ（組み立て）、まで一貫生産体制を確立している。そのため半導体チップの仕様からセンサーの形状、出力方式、取付方法など、顧客の要望に合わせたカスタム対応が可能。光センサーは種類が多く、どのセンサーを使用すれば良いか判断が難しいが、コーデンシは豊富な知見を生かし、顧客ニーズを的確に捉えた提案ができる。

コフロック

コフロックは培った流体の計測・制御・発生技術で、さまざまな業界への深耕と顧客ニーズを捉えた製品アップデートを推進する。

急な圧力変動時も流量を安定制御できるPIMASフローコントローラー「ST1500」と、温度補正付カルマン渦流量計「FM1300」を中心に、半導体製造装置向けの実績を積み重ね、顧客からの改善要望なども蓄積。ニーズを捉えた製品ラインアップの充実に取り組んでいる。

ガス発生装置では食品包装やリフローはんだ付けなど、多用途でロングセラーのコンプレッサー内蔵型窒素ガス発生装置N2IMPACTIIを拡充。工場スペースを有効活用したい顧客要望に応える「屋外型」さらなる販売拡大を狙う。

三洋化成工業

60年以上の歴史を持つロングセラー製品「アクループ」は潤滑油添加剤であり、自動車用エンジンオイル向けのポリメタクリレート系粘度指数向上剤において国内トップシェアを誇り、省燃費化や二酸化炭素（CO₂）排出削減など、環境負荷低減に貢献している。豊富なラインアップを展開し、駆動系油をはじめとする多様な用途に対応している。また長年培った有機ポリマー技術を活かし、2025年7月には電気自動車の駆動ユニット「イアックスル」向けの耐摩耗・耐焼き付き添加剤「アクループNS100」をリリースし、複数社に採用されている。三洋化成グループは今後も変化を市場ニーズに応え、さらなる用途拡大と技術革新を推進する。

有力企業の製品・技術（順不同）

地球環境を大切にしているんだって

みんなイキイキ働いているね

健康に役立つものも作っているんだ

わたし、この会社がスキ!

化学は世界を楽しくする。

第一工業製薬

本社 〒601-8002 京都市南区東九条上殿田町48番地2 Tel.075-276-3030 東京本社/研究所/名古屋支店/九州支店/四日市工場/大湊工場/滋賀工場
www.dks-web.co.jp

交通インフラに貢献

情報表示板

道路照明器具

トンネル照明器具

安心・安全で持続可能な社会へ

産業インフラに貢献

産業用照明器具

ノイズ対策製品

配線保護機材

SEIWA SDGs

当社のSDGsへの貢献

モノづくり

人・組織

環境

社会貢献

※SEIWA SDGsのロゴは、「環境と調和しながら、私たちの最もかかりが深い社会インフラで貢献を行いながらゴールを目指す」星和電機の姿を表しています。

SEIWA 星和電機株式会社
<https://www.seiwa.co.jp>

本社工場
〒610-0192 京都府城陽市寺田新池36番地
TEL.0774-55-8181 FAX.0774-58-2034